

## 市民との意見交換会

# 議会だよりをアップデート！

11月8日に議会だよりをアップデートするために市民との意見交換会を実施しました。意見交換会では活発な意見が交わされ、今回は参加した皆さんからのご意見やご要望などを一部ご紹介します。



意見交換会の様子

### 表紙について

表紙はとても大切。景色よりも子どもとか人物や動物などを使う方がいいと思う。

表紙の写真自体はいいと思うが、中を開く気にはならない。町会のお祭りの様子を載せるのはどうか。

リニューアルしてからの風景の写真は動きがない。人物や動物など動きのあるものを表紙にすべき。

市民が親しみを持てるような写真・画像を表紙にすべき。



### 掲載記事について



今の議会だよりで、議員の言いたいことは網羅されているのか。もっと熱く語るページがあってもいいのでは。  
スマホで簡単に議会だより内のコーナーに参加でき、市民の意見を取り入れることができるようにした方が良い。  
議員が一般質問をした事業や施策の途中経過が知りたい。

### 参加してみた感想



これまで議会だよりはほとんど読んだことがありませんでしたが、中身を見てみるとカラフルで議会内容も簡潔にまとめられていて、とても読みやすかったです。

今後は表紙に簡潔な記載内容の説明を加える等の工夫が必要かと思いました。

### 意見交換会を終えて

議会だよりをテーマにした初めての意見交換会。「中身は読みやすい」とご評価をいただいた反面、表紙をめくりたくなるような工夫が足りないなど、改善点がたくさんあることも分かりました。さっそく今回の第86号から表紙を工夫し、ご意見ご感想を気軽に投稿できるQRコード(P.16裏表紙)も掲載しました。さらなる改善に向けたご意見をお待ちしています。

避難場所の確認と避難物資の準備を忘れずに！！



## 災害発生時の備えとなる指針を

議会運営委員会

災害時における議会の対応と議会運営について



熊本県益城町での行政視察の様子

古賀市では災害発生時の指針となる議会BCPの意義を能美市議会内でも共有する取り組みが必要であると感じた。熊本市では仮設住宅及びみなし住宅利用期限終了後の対応の事前準備の必要性を認識した。また、益城町では公助だけでは限界があり、自分の命を守るためには、自助・共助・公助の役割を一人ひとりが考え、備えることが必要だと市民に広めることの重要性を実感した。

所感

激甚化、頻発化する自然災害の多発する現在において、議会としての行動マニュアルや対応指針を見直すべく、令和6年10月29日～31日の3日間、議会版BCPを策定している福岡県古賀市、熊本地震を経験している熊本県熊本市、熊本県益城町の3つの自治体の行政視察を行った。

## より多くの市民に読んでもらうために

広報広聴特別委員会

議会だよりの作成について  
議会広報モニター制度について



長野県軽井沢町での行政視察の様子

両町とも町民目線からの声を議会だよりに多く載せる努力をしており、市民が読んだ際に親しみを持っていただけの工夫をしていた。  
議会広報モニター制度はモニターの方が住民に対して議会の様子を説明するなど、議会の応援団になっているとお話も聞くことができた。能美市の議会だよりにも議会・議員独自の取組などで市民に訴えることが必要だと感じた。

所感

令和5年度に議会広報紙を全面リニューアルしたが、さらなる改善を行うべく、令和6年10月21日～22日の2日間、議会広報紙のモニター制度を導入している長野県飯綱町議会、そして以前モニター制度を導入していた長野県軽井沢町へ行政視察を行った。



報告書の全文は市議会ホームページでご覧いただけます。

# 委員会レポート

今回は行政視察の内容をお伝えします。現状や課題を調査研究し、市への提言や議会運営の強化につなげます。